

交通安全かわら版

令和 6 年 10 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 36

～ 令和 6 年 9 月末の交通死亡事故 ～

令和 6 年 9 月末の交通死亡事故の特徴【発生件数 63 件、死者 65 人】

- 本県の死者 **65人** 前年比 **-4人** 全国ワースト第**10位**
 - ◇ 人口10万人当たり 2.30人 (全国ワースト第**11位**)
 - ◇ 自動車1万台当たり 0.24人 (全国ワースト第**19位**)
 - ◇ 道路千キロメートル当たり 1.17人 (全国ワースト第**35位**)
- 全国の死者数 **1,876人**、前年比 **+4人** (増減率 +0.2%)

- ◆ 「高齢者」の死者数 **34人** (構成率 52.3%)、前年比+1人 (全国ワースト第**8位**)
- ◆ 「飲酒運転」による死亡事故は**4件**、前年比±0件
- ◆ 「高齢者」が第1当事者となる死亡事故は**26件**、前年比+11件
- ◆ シートベルト非着用の死者数は**11人**、前年比+2人
- ◆ 県南地域で**20人** (構成率 30.8%)

【交通死亡事故の主な特徴】

(1) 市町村 ※高速道路を除く	◇ 多発市町村 9人～ 水戸市(+5) 7人～ つくば市(+1)
(2) 第1当事者の年齢層 (件)	◇ 70歳代以上 20件(+10) ◇ 高齢者 26件(+11), 青少年 8件(+1)
(3) 第1当事者の違反 (件)	◇ 前方不注意 16件(-1) 運転操作不適(+2), 右側通行(±0) 各9件
飲酒運転 (件)	◇ 飲酒運転による交通死亡事故 4件(±0)
(4) 状態	◇ 四輪車 29人(+9) うち同乗 7人(-1), 歩行者 21人(-4) うち横断中 14人(-1) 自転車 6人(-4), 二輪車 9人(-4)
(5) シートベルト	◇ 四輪乗車中 29人 うち シートベルト非着用 11人(37.9%) , 着用 18人(62.1%) 非着用11人中、7人(63.6%)は、着用していたら助かった可能性あり
(6) 時間・昼夜	◇ 時間帯別は 2～4時 9人(+6) ◇ 昼間 35人(-3) 構成率 53.8%, 夜間 30人(-1) 構成率 46.2%
(7) 事故類型	◇ 人対車両 21人(-4), うち横断中 14人(-1) ◇ 車両相互 25人(-3), うち正面衝突 11人(+1) ◇ 車両単独 18人(+4), うち工作物 14人(+4) ◇ 列車 1人(-1)
(8) 死者の年齢層	◇ 80歳以上 20人(+7) 構成率 30.8% ◇ 高齢者 34人(+1) 構成率 52.3% , 青少年 4人(-2)
特記事項	○ 令和6年9月中の死亡事故(発生件数 3件、死者数 3人)の特徴 ・高齢者の死者が2人 ・薄暮時間帯(日没前後1時間)の事故が1件 ・秋の全国交通安全運動期間中(9/21～9/30)の死亡事故発生なし(県内)

※注1 「青少年」とは16歳以上24歳以下、「高齢者」とは65歳以上をいう。

2 「飲酒運転」とは原付以上が第1当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。

3 ()内は前年比

交通安全かわら版

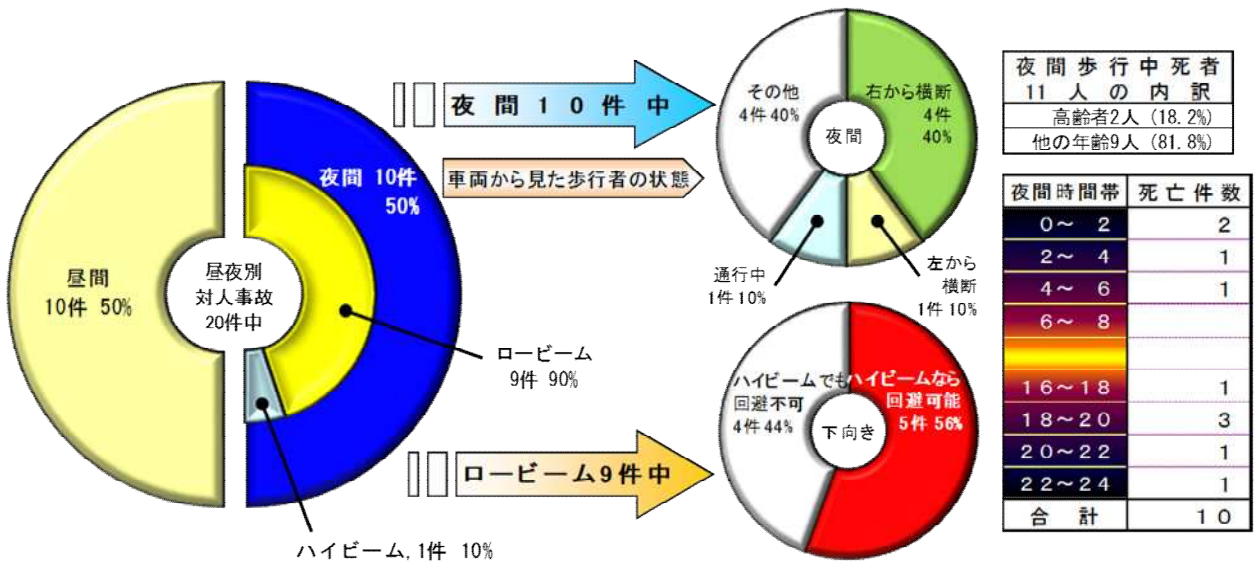
令和 6 年 1 0 月
茨城県警察本部交通総務課

No. 37

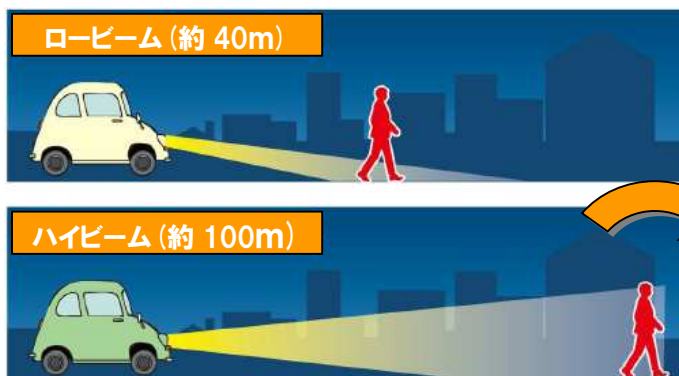
ライト切り替えによる交通事故防止

10月は午後4時30分を目安に ヘッドライトを点灯しましょう！

夜間、四輪車が歩行者をはねる交通死亡事故(令和6年9月末現在・10件11人)



運転者はヘッドライトのこまめな切り替えを！



ロービームでは40m先に立っている人の足下しか照らしていません。時速60キロで走行していた場合、人だと認識できたときにはブレーキを踏んでも間に合わない可能性が高くなります。ハイビームを活用し、上向きに出来ないときは速度を控えましょう。

歩行者・自転車利用者は反射材の着用を！



反射材を身につけて、車両に自分の存在を知らせましょう。